



## IPPNW(核戦争防止国際医師会議)コーナー

# 核兵器のない世界へ向けての医学的アピール

## 核兵器禁止条約の交渉のときがきた

IPPNW米国支部(PSR)とIPPNWロシア支部(RPPNW)は標題の書簡を、世界的に著名な38カ国の医師300名以上の署名とともに、米国のオバマ大統領とロシアのメドベージェフ大統領のもとに届けました。以下は書簡の和訳です。

オバマ大統領 殿      メドベージェフ大統領 殿

60年以上もの間、人類は核による絶滅の脅威にさらされています。貴台は大統領になられたことで、人類が直面するこの深刻な脅威に決然と立ち向かう機会を得られました。この機会をとらえられることを大いに期待してこの書簡をしたためております。

米国とロシアは冷戦時代に膨大な数の核兵器を製造し、今なおそれらを保有しています。これら大量殺戮兵器の役割は20年前に終わったにもかかわらず両国は未だに20,000発以上の核弾頭を保有、うち2,300発以上はミサイルに搭載されたままで警戒態勢に置かれ、非常に危険な状況です。これらミサイルはほんの数分で発射できる状態にあり、30分後には互いの都市を破壊することが可能です。ロシアが保有する核兵器のわずか300発を使用して米国の都市を攻撃した場合、最初の30分で9千万人が死亡し、米国がロシアに対して同様の攻撃を行った場合も同じ結果になるという研究報告が2002年に発表されました。生きていく為に必要な経済、通信、輸送機関のインフラ全てが破壊され、最初の攻撃で生き残った者も大半はその後数ヶ月の間に疾病、被曝、そして飢餓が原因で死亡するでしょう。

しかし、米国とロシアの破壊は悲劇のほんの一部でしかありません。この規模の攻撃により、何百万トンというすすと埃が大気圏上層部まで舞い上がり、太陽光は遮られ、世界中の気温が低下します。実際、両国の戦略核兵器すべてが使用されれば、地表温度は18000年前の氷河時代レベルにまで低下します。農業は立ち行かず、エコシステムは破壊され、人間をも含む多くの種が絶滅するでしょう。

広島型爆弾100発を使用した限定戦争でさえ、10億人を餓死させるに十分な世界的飢饉を引き起こすほどの気候破壊が起きます。このような戦争は、インドやパキスタン等、他の核兵器保有国を巻き込みかねません。ゆえに、すべての核兵器保有国は早急に自国の核兵器を放棄しなければなりません。また、「ゼロにする」、つまり貴国の全ての核兵器を速やかに廃絶することが重要です。なぜなら貴国がそれぞれ保有する核兵器のわずか50発でさえ、世界全体にとって脅威となるからです。

故に、我々は、世界の核兵器の95%を保有する米国とロシアの指導者である貴台に、すべての核兵器を廃絶する核兵器禁止条約にコミットし、本条約の締結に向けて他の核兵器保有国と直ちに交渉を開始することにより、核不拡散条約第6条の責任を果たすことを求めます。

過ちを犯してはいけません。貴台は核兵器時代をきっぱりと終わらせる力をお持ちです。この力には大きな責任が伴います。今この困難な時に、貴台は多くの緊急課題に直面されています。しかし核戦争を防ぐ必要性に比べればそれらの問題は皆色あせてしまいます。今まで核兵器を廃絶できる可能性は何度かありましたが、我々は行動を起こしませんでした。今、この時が最後のチャンスかもしれません。今から千年後、貴台がこれから数年間で行うことの大半は忘れ去られているでしょう。しかし核戦争の脅威を取り除いた指導者たちがいたことはずっと記憶されるでしょう。

歴史上の偉大な善行を行う機会に恵まれる人はそんなにはいません。貴台には世界を救う機会が与えられているのです。どうか私たちに失望させないで下さい。 (原文英語 和訳IPPNW日本支部事務局)